

2012/8/04

環境部会チームリーダー 藤原篤

第51回 環境チーム会議 議事録

日時：7月15日（日）9時30分～12時

場所：竹の里会館

出席：岩倉、長澤、福富、藤原

1. 福富氏より、「西京・区民提案活動サポート制度補助金申請について説明。
 - 1) 創生推進委員会は、美化活動を進めている各グループのKEYとなるべきである。
 - 2) 「ごみゼロ宣言」は、今後、4自治連合会によって、美化強化区域の設定、まちの美化推進住民協定の実現に向けての意識を共有する「ふわっとしたもの」とすべきである。
 - 3) 「西京・区民提案活動サポート制度補助金」の基本的方針は、
 - ・やれることをやる
 - ・きれいにしようと住民にアピールすることを基本に考える。これらの活動により、環境局、エコステーションも巻き込んでいく。
 - 4) 「西京・区民提案活動サポート制度補助金」の具体的使い方は、
 - ・広報：公園愛護協力会、街路樹サポータ、小学校、エコステーションに呼びかける。
 - ・分別：協力者を把握する
 - ・回収：委員会、エコまちステーションと連携して行う。
 - ・ストックポイントの設置：中央緑地内にストックポイントをつくる。（たい肥をとりに行けるように）

2. 本年度スケジュール

1) 「楽祭 in らくさい」まで（8～10月）

・ 8月

- ①「緑のガイドライン」、「ごみゼロ宣言」の全体会議での説明・承認
- ②北部みどり管理事務所との交渉の方法を支所（課長、担当区長）と戦略会議
- ③「緑のガイドライン」、「ごみゼロ宣言」周知のための「勉強会+まち歩き」（自治連会長出席）企画・準備

・ 9月

- ①「緑のガイドライン」、「ゴミゼロ宣言」周知のための「勉強会+まち歩き」（自治連会長出席）実施
- ②「わかりやすく親しみのある通りの愛称づくり」（以下「通りの愛称づくり」とする）の主旨と対象路線選定方針の検討

・ 10月

- ①「緑のガイドライン」、「ゴミゼロ宣言」周知のための「説明会」を、各自治連において実施
- ②「緑のガイドライン」、「ゴミゼロ宣言」発布
- ③「通りの愛称づくり」対象路線公募方法の検討

2)「楽祭 in らくさい」（11月）

- ①「緑のガイドライン」、「ゴミゼロ宣言」周知、広報
- ②「通りの愛称づくり」対象路線公募

3)「まちづくりフォーラム」まで（12月～H25年2月）

- ①「通りの愛称づくり」対象路線公募結果を全体会議で発表
- ②対象候補路線沿道自治連と協議
- ③次年度計画の検討

4)「まちづくりフォーラム」（H25年3月）

- ①年度成果の発表
- ②「通りの愛称づくり」の主旨と対象路線の公表

2. 洛西ニュータウンごみゼロ宣言は、以下の文言とする。

「洛西ニュータウンをポイ捨てごみゼロのまちに」

私たちは、京都市市民憲章を守り、さまざまな活動をとおして、ポイ捨てごみのないクリーンなまちをめざします。

新林自治連合会 会長
境谷自治連合会 会長
竹の里自治連合会 会長
福西自治連合会 会長
洛西ニュータウン創生推進委員会 委員長

3. わかりやすく親しみのある通りの愛称づくりについて

1) 愛称づくりの効果として以下の事柄が挙げられた。

- ・まちの財産を知ることができる。
- ・通りの名前が、見た目（たとえば樹木のイメージや特徴）でわかる。
- ・樹木の名前がついたら、行政も緑を大切に考えてくれる。
- ・よそから来た人に、洛西の緑のすばらしさを知ってもらえる。洛西の魅力を発信することができる。

2) その他

現在の通称と、新しく作られる愛称を併記するのが好ましい。

8月の環境チーム会議は、以下の通りとする。

日時：8月**19**日（日）9：30～11：30

場所：**境谷会館管理室**